

令和7年度 第5回創徳中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年1月16日（金）15：30～16：30

2 場 所 図書室

3 あいさつ（学校長、委員長）

（1）委員長より

- ・新しい年を迎えた。本年が良い年となるように祈念する。
- ・本日は授業を参観して、率直な意見を出し合い、これから創徳中がどうあるべきか話し合いたい。

（2）学校長より

- ・本日は教科の授業とは違い、総合的な学習の時間や道徳の授業を参観していただいたが、ある意味、こどもたちのありのままの姿を見ていただけたのではないかと考えている。
- ・本日は校区の人権フォーラムと重なっており、校区の各小学校から6名ずつ児童が来て、本校の生徒と人権について学び合うという姿を見ていただけたのも良かったと思う。先ほど、委員長がおっしゃっていたように、この後、協議の中でそのことにも触れていただきながら、率直なご感想をお聞かせいただけるとありがたい。
- ・こどもたちは、各学年のまとめ、それから次のステップへの準備をやっていく時期になってきた。3年生はいよいよ受験が本格的に始まるということで、様子見していると、緊張感の中にも夢に向かって頑張ろうというような凛とした姿も見受けられるようになってきた。よく「受験は団体戦」と言われるが、こどもたちには、支え合いながら、この大きな壁を乗り越えていってほしいと思っている。
- ・その3年生の卒業式は、本年度は3月6日（金）に挙行することになったので、皆さんには改めてご案内をさせていただく。ご都合が良ければ、こどもたちの新しい門出を祝福していただけるとありがたい。余談だが、昨年末に体育館内の空調が完備されたので、暖かい中で式を行えると思う。
- ・このあと、学年の様子を伝えさせてもらい、それを踏まえて本日の授業の様子についてご意見をいただければと思う。

#### 4 報告 各学年の生徒の様子について

##### ア 第1学年より報告（教務）

- ・1年生は、小学校から入学してきて、約9ヶ月経ったが、まだまだ幼さやあどけなさが残るようなこどももたくさんいる。そんな中でも、少しずつ成長してきた姿を見させてもらっている。学年全体としては、エネルギーのある活発なこどもたちが多いので、行事をするにしても授業をするにしても、活発に意見が出るし、自分たちで活動していく姿が多く見られるかな。
- ・12月には、名古屋方面に社会見学に行ってきたが、事前学習も丁寧に行い、当日はルールも時間もきちんと守って、トラブルなく過ごすことができた。事後の集会の時には、担当の教員から生徒に向けて、よくできたと褒めることができたし、こどもたちも非常に達成感を持って社会見学を終えることができた。一人ひとりの学びは壁新聞に書いて廊下に掲示をすることで、友達のものを読み合い、学びを共有することができた。
- ・今日は道徳の授業で遵法精神について扱った。SNSの使い方、言葉の選び方や伝え方には注意が必要であることをこれまでも指導してきたが、こどもたちの現状に合った教材であり、クラスではさまざまな意見が出ていたと思う。
- ・気になっているのは、教室に入りづらい生徒、不登校傾向の生徒が各クラスにいることである。その一方で、教室に入りづらく欠席がちだったが、サポート教室を利用することで登校できるようになってきたという生徒もいる。こういった生徒と学年の生徒をどうつなげていくか、教員とどうつながっていくかが課題である。

##### イ 第2学年より報告（学年主任）

- ・2年生は、友達付き合いが上手ではないというか、友達をつくるのが難しい様子の生徒がいる。幼いこどもが多く、悪口や陰口や人の失敗を笑う姿がちょこちょこ見られる。それは男子に多く、女子は真面目だがそういった姿に対して注意ができない。
- ・自分たちの現状を見て、どんな学年にしたいか考えさせたところ、「行事を全員で楽しめるようにしたい」「だれもが嫌な思いをしない学校にしたい」という声が上がった。2学期もそうだったが、3学期に入ってから、学年集会やクラスでこどもたちにおきて話をしている。真面目な生徒が表に出てきてリーダーになるよう、みんなが楽しく過ごせる学校にしていく途中である。

ウ 第3学年より報告（学年主任）

- ・先週の終わりから今週の水曜日まで、学年末テストを実施していたので、本格的な教科の授業は昨日からである。
- ・受験指導を行い、一部の高校を受験する生徒に受験票を渡したが、緊張して受け取る姿があり、いよいよという感じがしてきた。
- ・本日は入試を間近に控えている生徒がいるので、総合の時間に面接練習を行った。それ以外の生徒は、各自で学習するものを用意して自習することになっていた。学校では教材を用意していたが、それを利用している生徒が少なかったことから、それぞれが学習するものを用意できていたのではないかと。自習の様子を見ていた担任からは、静かに取り組めていたと報告を受けている。
- ・テスト返しの際に「今までで一番勉強したのではないかと」と問うたところ、「そうです。今回は将来の自分のために勉強しました。」と答えた生徒がいた。
- ・教室に入れず養護教諭に話を聞いてもらいたそうにしている生徒や、面接練習で思うように自分の言いたいことが言えずに泣き出してしまう生徒がいるなど、こどもたちの心は揺れている。3月31日まで、こどもたちをきちんと見届けたい。

エ 協議内容（○：委員の発言 ●：回答等）

○2年生は席替えをしていたが、どう決めているのか。

●今回はくじ引きを行った。本当は班長をクラスみんなで選出し、その班長たちに班員を選ばせたかった。以前にその方法で実施したことはあるが、現在は「この子は嫌」「この子の隣は嫌」という発言が聞かれるので、今回は見合わせた。

○授業を見ていると落ち着いた感じのように見えるが、以前、サポート教室が大変だと言っていた。最近のサポート教室はどのような様子か。

●年度当初落ち着かない状況があり、再三再四、該当する生徒の保護者には話をしている。著しく改善したかということそうではないが、1つ1つ改善が見られる部分はあると思う。ただ、来年度以降もきちんと運営していかなければいけないということで、昨日の職員会議で、来年度に向けて3学期のうち

にいろんなことを生徒や保護者に確認をして試行していくということが決まった。サポート教室は学校に行きづらい生徒が来る場所で、教室復帰を目指すためにステップする場所であるので、そこに来るだけが目的ではない。通室するにあたっては、教室にはなかなか入りづらいのでお願いしますという立場であり、利用するほかの生徒の自学自習の妨げになるような状況は認められないということについて、再度、こどもたちにも話をし、保護者にも理解していただく。それでもまだ変わらない生徒に対しては、粘り強く指導している最中で、もうひと頑張りしていかなければいけないと思っている。

○部活動の方向性は今後とうなっていくか。四日市市の学校の中には、部活動は17時終わると言っているところもあると聞くが、平日の活動はどうなっていくのか。

●平日の活動はそのまま継続するという認識なので、特に何時までで終わるといったことは議題に上がっていない。平日は2時間以内という中で活動を保障していければ良いと考えており、絶対に2時間しなければいけないということでもないので、各部がそれぞれの状況を見て考えてもらいたい。

○授業するにあたり、先生方の困り感はどんなことか。

●学校全体で複線型授業に取り組むということで、先月の校内研修でも教育指導課の先生をお招きして複線型授業というものがどういうもので、どういう学びを大切にしなければいけないのかということについてお話を聞かせていただいた。ただ、目の前のこどもたちの状況は様々であり、教科によってもこどもたちの関心や理解は様々なので、一様にとすることは難しい。こどもたちに少しずつ学びを委ねていくということだが、その度合いをどう測るか、そのための準備をどうしていくのが正解なのかというのがまだはっきり見通せないというところに難しさを感じている。

●1年生では、最近、社会科の歴史の授業で、マンモスを倒す方法を考えてそれをスライドに整理をして発表といった授業をしていたが、こどもたちはそれが結構楽しかったようである。こどもたちとしては、いろんな学び方があったりいろんな考え方が表現できたりする授業というのは、手応えを感じたり学びが深まったと感じたりしているのだろうと思う。

●一方で、多様な学び方を認めていくと、授業規律を守らせるのが難しくなる。そのあたりのバランスをうまくとるのも課題である。

●2年生では、「なぜあの服装でいいの？」と周りの生徒から言われるような着こなして授業を受けている生徒がいる。具体的には、ジャージのままで、制服に着替えるように言っても従わない生徒がいる。保護者にも伝えているが改善が見られない。

●3年生では、学生服・ブレザーを避ける傾向がある。高校入試の時には、学生服、ブレザーをきちんと着て、リボンもして、第一印象を良く見せることで相手に対して礼儀ややる気を示すところがあると伝えているが、ものすごく窮屈に感じているようである。また、以前はそんなことはなかったが、こどもたちは上着を脱ぐのは失礼に当たらないと思っているのかもしれない。

●困り感は、やはり教員の数。今日の6限目も、いわゆる「控え」という空きコマの教員は1人もいなかった。特別支援学級の先生も監督に行っていた。放課後の対応や、授業中に個別に先生に相談をしたいという生徒のニーズに対応しきれないことがある。これも本当に10年ぐらいの前の生徒なら仕方がないと教室に行って授業を受けてくれたと思うが、今の生徒は自分の希望を通そうとする傾向もあるかなと思う。個別に関わりを求める生徒も増えており、関われるものだったら関わってあげたが、あっちで1人こっちで1人となると、教員が足りない。

○創徳中ができることとできないことがある。人を増やしてほしいというのはここではできないこと。

○他の中学校でも、エアコンがついたので生徒はブレザーを着ない生徒が少なくない。そういった生徒は、ブレザーの中に着るポロシャツで過ごしている。エアコンは20度までに設定している。

○3年生で数回しか学ランを着ていないのは、買ったのにもったいない。

○廊下に「出店計画」が貼ってあったが、あれは何か。

●3年生の社会科の授業で生徒が作成した。

○あれなら、自分なりに楽しく学べる良い授業だと思う。ああいった授業は最近だからこそできる授業かもしれない。こどもたちにとっては意欲的に学べると思う。

○制服について、新しくブレザーにしたときに、いつでもきていいということにしたのではなかったか。絶対に着るものであれば、保護者にも着るように伝える必要がある。社会のルール、ある程度の常識は知っておかなければな

らない。3年間の中で、ルールというものへの見方・考え方をどこかで教えなければならない。

●制服は「自分の体調に合わせて」としてあることから、一概に上着を着なさいとは言いつらい。

○ネクタイ・リボンは、ある・ないで相手への印象が違う。受験の時に相手に与える印象で不利にならないように。ネクタイはいい加減な締め方をすればすぐにわかる。

●ネクタイ・リボンは、1年生はつけてもつけなくてもよいと周知している。そのため、購入していない家庭もあるので、式典だからつけなさいというの難しい。

○ネクタイ・リボンは値段が高い。リボンは2000～3000円したと記憶している。買ってもいつ付けるのかという意見もあり、最終的には強制は難しいということが制服検討委員会で出ている。

○セレモニーでは社会人になるけじめとして、きちんと制服を着るように指導をしてほしい。

○全国学調の結果が良いのは、どんなことが要因として考えられるか。

○（得点分布の）グラフがいつも90点台が高い。

●「ここが大事」と授業で授業者が伝えている。こどももそこをしっかりと勉強している。

●各教員がきめこまかく授業準備をしている。C・D層にどう刺激を与えるか、そこが複線型授業や協働的な学びについて研修を行う中でいつも話題に出てくるところである。ただ、「これをやったから大丈夫」というひとつのものはない。先生方は課題の出し方を工夫したり授業準備を丁寧に行っている。

○学調の結果はだいたい波があるものだが、創徳中は良い状態が続いている。いい感じで頑張ってくれている。

○自分たちの時代とは授業の様子が全く違う。

○これがいいという教え方はない。黒板に生徒意見を書く先生もいたし、発言した生徒に対して拍手をしましょうと言っていた先生もいた。私にご挨拶しましょうと言っていた先生もいた。

○1年生の道德の授業について、SNSのように身近な問題を取り上げている授業は良い。生徒が身の周りの問題を取り上げて、そのどこがいけないのか考えるのは良い方法だと感じた。

●サポート教室の支援のための人材確保について、支援員に週1日で来てもらえるようになった。教育実習に来ていた学生にボランティアで来てもらってもいたが、継続して行うのは難しい。大木中ではどうしているのか。

○家庭科の調理実習や技術科の作業の時などに手伝いに来てくれている。図書室はメディアセンターとして月に2～4回程度地域に開放しており、司書が来るときにはボランティアが3、4人集まっている。ただ、募集しても学校が来てほしいような人材が来てくれるかはわからない。人が欲しいのはサポート教室か。

●サポート教室で個別に生徒の横についてもらえるとありがたい。以前ここで話したら、中学校の学習ボランティアは敷居が高いと言われた。現在は非常勤の先生に不登校対策支援員としてもサポート教室に入ってもらっている。

○SSCなら、学校につながりのある人たちなので、学校の現状を分かっており、適した人がいるのではないか。

○自分たちの足元を見て、気づかされることが多い。教師の現場の視点とはまた違った視点を委員の皆さんはお持ちである。そういった意見を学校運営に生かしていきたい。職員会議で先生方に示した「安心して学べる学校を目指して」アンケートの結果、弱みがはっきりしてきた。友達や仲間とのつながりが難しい、うまくできないんだと思う。クラスの雰囲気、「安心して発言できる雰囲気がある」という項目が低かった。「学校に行きたい」というものは市よりも低く、7月から12月にかけて数値が下がっている。仲間づくりの中でちょっと課題があるのかなと考えている。そこに課題があると、こどもたちは不安を抱えるし、安心できないと自分を出せない。主体的にどんどんやっていきましょうと言われても、自分の考えを言った時に周りがちゃんと受け入れてくれるのかとか、例えば自分が間違ったことを言ったときに笑ったり否定したりせずにちゃんと受け入れてもらって返してくれるかというところで、これらの項目が低いのかなと考えている。この部分を高めていくのは難しいところだが、人権教育担当と今年度中に手立てを考えながら、安心して自分を出せる空間、居場所としての学校を安定させていきたい。2年生が危機感を感じていると言っていたが、学校全体で取り組んでいく。

## 5 教育委員会より

・教育支援課加藤先生が欠席のため割愛

## 6 その他

- ・卒業式は3月6日（金）。今後、学校から改めて案内を出す。
- ・コミュニティ・スクールに関する意識調査（アンケート用紙）本日回収。
- ・第6回（2月13日）の開始時刻は、17時とする。2月第1週に学校評価の各担当まとめを各委員あてに送付する。次回はそれに対してご意見を伺う。